

1から学ぶ中学受験算数 ~第14回過不足算②~

氏名: 解答・解説

例1 体育館に長いすをならべて、子どもたちが座ります。1脚に4人ずつ座ると、15人が座れません。また、1脚に6人ずつ座ると、だれも座らない長いすが3脚でき、3人だけ座る長いすが1脚できます。長いすの数と子どもの人数を求めなさい。

4人 4人 ... 4人 4人	4人 4人 4人 4人	15人あまり
6人 6人 ... 6人 6人	3人	3人あまり
2人 2人 ... 2人 2人		28人

$28 \div 2 = 14 \text{脚}$
 $14 + 4 = 18 \text{脚(長いす)}$
 $4 \times 18 + 15 = 87 \text{人(子ども)}$

例2 いちごを子どもたちに配ります。はじめの15人には10個ずつ、残りの人には9個ずつ配ると、3個あまります。また、全員に12個ずつ配ると、42個不足します。子どもの人数といちごの個数を求めなさい。

10個 10個 ... 10個 10個	9個 9個 ... 9個 9個	3個あまり
12個 12個 ... 12個 12個	12個 12個 ... 12個 12個	42個不足
3個 3個 ... 3個 3個	3個 3個 ... 3個 3個	60個

$60 \div 3 = 20 \text{人(子ども)}$
 $12 \times 20 - 42 = 198 \text{個(いちご)}$